



# 日本学校心理士会 2022 年度大会のご案内

大会テーマ

## 『感染症との共生のなか、学校における心理教育援助サービスを考える』

期 日：2022 年 10 月 15 日(土)～10 月 24 日(月)の 9 日間

開催方式：オンデマンド（一部オンライン）

主催：日本学校心理士会

後援（一部申請中）：文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国特別支援学校長会、全国高等学校長協会、全国国公立幼稚園・子ども園長会、公益社団法人日本教育会、一般社団法人学校心理士認定運営機構、一般社団法人日本特殊教育学会、日本発達障害学会、一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本 LD 学会、日本学校心理学会、日本応用教育心理学会、日本生徒指導学会、日本学校カウンセリング学会、日本コミュニケーション障害学会、日本学校メンタルヘルス学会、日本学校教育相談学会、一般社団法人 日本心理学諸学会連合、一般社団法人 日本心理臨床学会、一般社団法人日本公認心理師協会、一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会、日本キャリア教育学会、NPO 法人日本教育カウンセラー協会、日本教育カウンセリング学会、一般社団法人日本カウンセリング学会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構

### 2022 年度学校心理士会大会のご案内

今年度も新型コロナウイルス感染流行のため、制限の多い日々が続いております。様々のご苦労をされている方々にお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日々を迎えられることを祈っております。

さて、2022 年大会は、昨年度のオンライン開催（主にオンデマンド方式）とほぼ同じ形態・運営で開催することとなりました。大会のテーマは、「感染症との共生のなかで、学校における心理教育援助サービスを考える」としました。今回のパンデミックはまだ終息していません。おそらくこのようなコロナ禍の状況はいずれ終息するというよりも、様々に様相を変えて継続し種々の問題に繰り返し対応せざるを得ないとも言われております。学校における安心・安全な生活を基本に、子どもたち一人一人と教師も含めた学校関係者らが健康で充実した学校生活を送れるよう、私たち学校心理士はでき得る力を結集して、暗い時勢に負けずに支援を継続していかなければなりません。そのためには「学び続ける」「実践し続ける」「研究し続ける」という学校心理士のあるべき姿を追求し、本大会が皆様の研修と実践に少しでも参考になれば幸いです。

大会プログラムとして、基調講演が 2 つ、研修講座が 8 つ、S V 研修が 2 つ、准学校心理士研修が 1 つ、ポスター発表を予定しております。いずれも、近々の教育行政における新たな施策や学校教育現場の問題とその対応に関する話題、知見や教育実践などの紹介をして頂きます。

研修ポイントは、上限 8 ポイント取得が可能です（ポスター筆頭発表者は上限 10 ポイントまで可能）。

是非とも、多くの会員の皆様の参加を得て、今大会を成功させたいと強く願っております。ご参加のお申し込みをお待ちしております。

日本学校心理士会 2022 年度大会長

日本学校心理士会会長 山谷 敬三郎

# 1. プログラム

※時間は変更の可能性あり

10月15日(土)		
午 前		
9:30~10:00 ライブ	開会行事（開会挨拶）	
10:00~12:00 ライブ  (見逃し配信 予定有り)	基調講演 1 ※	
	<講師> 小林 雅彦（文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長） <演題> 「生徒指導の今とこれから」	
	基調講演 2 ※	
	<講師> 八並 光俊（東京理科大学） <演題> 「生徒指導提要と学校心理学」 指定討論※ 石隈 利紀（学校心理士認定運営機構理事長） 司会 山谷敬三郎（日本学校心理士会会長）	
※をすべて受講で A:1ポイント		
午 後		
13:00~14:00 ライブ	総 会 ●配信場所：Zoom	
14:20~15:10 ライブ	学校心理士養成大学院教員連絡協議会 ※「学校心理士」資格審査条件等について ●配信場所：Zoom	

※システム管理のため 10月13日（木）から研修講座へのアクセスが可能です。  
 ぜひ事前にアクセスし、ネット環境をお試し下さい。

10月13日(木) ~10月24日(月)	
オンデマンド  ※期間中いつでも 何度でも視聴可能	研修講座①~⑧ <A:1ポイント> 研修講座の概要についてはHPをご覧ください ①松浦 均（三重大学） 「コロナ状況下でのコミュニケーションに関する課題について — これまで～現状～これから —」 ②伊藤 崇達（九州大学） 「自己調整学習と動機づけの支援に向けて」 ③若松 養亮（滋賀大学） 「児童・生徒の学校適応・学校移行を支援するキャリア教育」 ④藤井 義久（岩手大学） 「学校心理士が行う「予防・開発的カウンセリング」の理論と実践」 ⑤三浦 光哉（山形大学） 「WISC-VとKABC-IIの理解と活用について」 ⑥野田 正人（立命館大学） 「家庭に困難をかかえる児童生徒への支援」 ⑦霜田 浩信（群馬大学） 「発達障害児の認知行動面に基づく支援」 ⑧蔵永 瞳（滋賀大学） 「思いやりのある学級集団づくりー共感と感謝に着目してー」
	SV研修①② SV研修① SV研修 I 河合 優年（武庫川女子大学） 「学校心理士と倫理」 SV研修② SV研修 II 副島 賢和（昭和大学） 「学ぶことは生きること～子どもの姿と子どもの権利～」
	准士研修：准学校心理士のみを対象とした研修（学校心理士・SVの方はポイント申請不可） 小林 玄（東京学芸大学） 「幼児期における発達支援」

**ポスター発表 《筆頭発表者 F: 3ポイント 連名発表者 H: 1ポイント》**

※質問受付期間 10月15日(土)～10月16日(日)

※回答期間 10月17日(月)～10月24日(月)(10/15から回答することも可)

**2. 資格更新ポイントについて**

本大会における最大取得ポイントは「上限を8ポイント」とします。  
ただし、ポスター筆頭発表者は上限10ポイントまで可能です。

例) **基調講演(A)1P+研修講座(A)1P×6+大会参加(I)1P 計8P**

例) ポスター筆頭発表者の場合

**基調講演(A)1P+研修講座(A)1P×6+ポスター発表(F)3P 計10P**

- (1)大会への参加によってI(1ポイント)が付与されます。ただし、F、Hポイントを取得した場合、Iポイントは認められません。
- (2)F、H、Iポイントのうち、認められるのはどれか1つのみとなります。
- (3)「基調講演」は、基調講演1、基調講演2、指定討論をすべて受講することでA(1ポイント)です。  
※基調講演は10月15日(土)10:00～12:00のライブ講演の他、10月16日以降～10月24日までオンデマンドで見逃し配信も可能にする予定です。いずれの場合にもポイント取得は可能です。
- (4)「ポスター発表」は、筆頭発表者がF(3ポイント)、連名発表者がH(1ポイント)です。  
ただし、連名発表者として複数の発表に参加してもHは1ポイントのみです。なお、「ポスター発表」に視聴者として参加していただくことへのポイントの付与はありません。
- (5)「研修講座①～⑧」への参加は、各A(1ポイント)です。
- (6)「准士研修」への参加は、A(1ポイント)です。ただし、准学校心理士のみを対象とした研修講座で、学校心理士・学校心理士スーパーバイザーの方が参加してもポイントは取得できません。
- (7)「SV研修①②」は、学校心理士スーパーバイザー有資格者を対象とした研修講座で、学校心理士ならびに准学校心理士の方は参加することはできません。研修領域については研修一覧をご覧ください。

**3. 受講方法について**

研修講座①～⑧ならびに准士研修(准学校心理士対象)は、すべての方が視聴することが可能です。ただし、SV研修①②は学校心理士スーパーバイザーの方のみ視聴可能です。

また、研修講座での取得可能ポイントは最大で6ポイントまでとさせていただきます、ポイント申請する場合は事前の申請が必要となります。これまでの士会大会、ならびに今後の士会大会のポイント取得数を勘案し上限を設定します。参加者別に研修講座での取得ポイントは下記のようになります。

- (1)学校心理士会員・ガイダンスカウンセラーは、研修講座①～⑧の中からご希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。
- (2)准学校心理士は、准士研修ならびに研修講座①～⑧の中からご希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。

- (3) 学校心理士スーパーバイザーは、SV 研修①②ならびに研修講座①～⑧の中からご希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。  
(例：SV 研修①②でポイント申請した場合、研修講座①～⑧では4ポイントが申請可能となります。)

#### 4. 事前参加申込について

大会ホームページにアクセスしていただき、『事前参加申込』ページ内の「事前参加・発表申込」ボタンよりお手続きください。

入力完了後、登録された E-mail アドレスに確認メールが配信されます。ご登録いただいた後、諸費用を払い込みください。事前に参加申込いただいた方のみ視聴可能です（当日参加受付はありません）。

- 大会参加申込期間 7月8日(金)～9月15日(木)
- 大会ホームページ <http://conference.wdc-jp.com/gakkoushinrishi/2022/>

- ①大会ホームページの『事前参加申込』ページ内の「事前参加・発表申込」ボタンをクリックして表示されるページ上で「ログイン ID を取得」をクリックしてください。
- ②各情報を入力いただくとご登録いただいたメールアドレス宛にログイン ID 発行通知が配信されます。
- ③発行通知に記載されたログイン ID を用いてシステムにログインしてください。
- ④システム上で参加登録・発表申込が可能です。

参加登録に関する各種締切は下記の通りとなります。

##### 【各種締切】

- 郵便振替申込締切（以降クレジット決済のみ） 9月12日(月)
- 参加申込締切／発表論文集事前発送締切 9月15日(木)

##### (2) 大会参加登録の流れ

上記「事前参加・発表申込」より参加申込する際に、参加を希望する研修を最大6つまで選択してください。本大会では、研修講座によるポイント（A）は最大6ポイントまで取得が可能です。

##### (3) ポスター発表申し込みおよび論文投稿について

上記「事前参加・発表申込」より発表申し込みおよび論文の投稿をいただけます。

なお、ポスター発表申込締切後、倫理審査後に発表スライド PDF（A4 サイズ）の投稿が可能になります。（後日別途ご案内となります）

- ポスター発表申込および原稿提出締切 8月2日(火)
- 申込および原稿提出先 <http://conference.wdc-jp.com/gakkoushinrishi/2022/>

##### (4) 受講証の発行について

後日公開のプラットフォームサイト上にて発行可能となります。受講証の氏名は参加登録時の情報が掲載されますのでご注意ください。詳細は、今後の HP 更新にてご連絡させていただきます。

##### (5) 合理的配慮（アクセシビリティ関連）について

研修講座①～⑧については、字幕挿入を現在検討中です。詳しくは、大会ホームページに掲載いたしますのでご参照ください。

## 5. 諸費用払込み方法について

諸費用の払い込みは、クレジットカード決済と郵便振替をご用意しています。それぞれ「事前参加・発表システム」よりお申し込みください。なお、郵便振替を選択された方はご登録いただいたメールアドレス宛に、振込先情報の掲載された完了通知が配信されます。

記載内容をご確認いただきお振込みをいただきますようお願い申し上げます。郵便振替に伴う手数料については各自ご負担でお願いします。

### 【大会参加費】

種 別	金 額
学校心理士会員（学校心理士スーパーバイザー含む）	7,000 円
准学校心理士の資格を有している方	3,000 円
ガイダンスカウンセラー	7,000 円

※ 非会員の方は参加できません。

※ 非会員でポスター連名者の方の参加費は発生いたしません。

## 6. ポスター発表要項について（※発表者への案内となります）

### (1) 発表の方法

ポスター発表については、質疑応答システムにより下記の「質問受付期間」と「回答期間」を設けております。発表者の皆様には参加者からの質問があった場合は、期間内にご回答をお願いします。

質疑応答システムについては大会ホームページに今後情報が掲載されます。

○質問受付期間 10月15日（土）～ 10月16日（日）

○回 答 期 間 10月17日（月）～ 10月24日（月）（10/15から回答することも可）

### (2) 発表の要件

本大会はオンデマンド開催となるため、発表原稿投稿と質疑応答を行うことで発表が認定されます。

### (3) 発表資格

筆頭発表者は、日本学校心理士会の正会員でなければなりません。また筆頭発表者は、発表申込、大会参加費、発表論文集原稿に関わるすべての手続きを、所定の期日までに行っていなければなりません。非会員の方は参加できません。また非会員でポスター連名者の方の参加費は発生いたしません。

### (4) 論文原稿作成要領

ポスター発表用の論文のフォーマットは「各種ダウンロード」のページからダウンロードできます。

原則として、研究の目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述してください。なお、事例発表には、個人情報保護・プライバシーへの配慮をお願いいたします。発表1件あたり、発表論文集の見開き2ページを充てます。作成していただく原稿は、A4判、横書き、2段組とし、1ページ目に題目、発表者氏名、所属機関名を記載し、2ページ目は論文のみとしてください（レイアウト図を参照）。なお、実際の論文集の大きさはA4判になります。

発表者は、「日本学校心理士会大会発表倫理規定」を遵守して、原稿の作成・発表を行ってください。

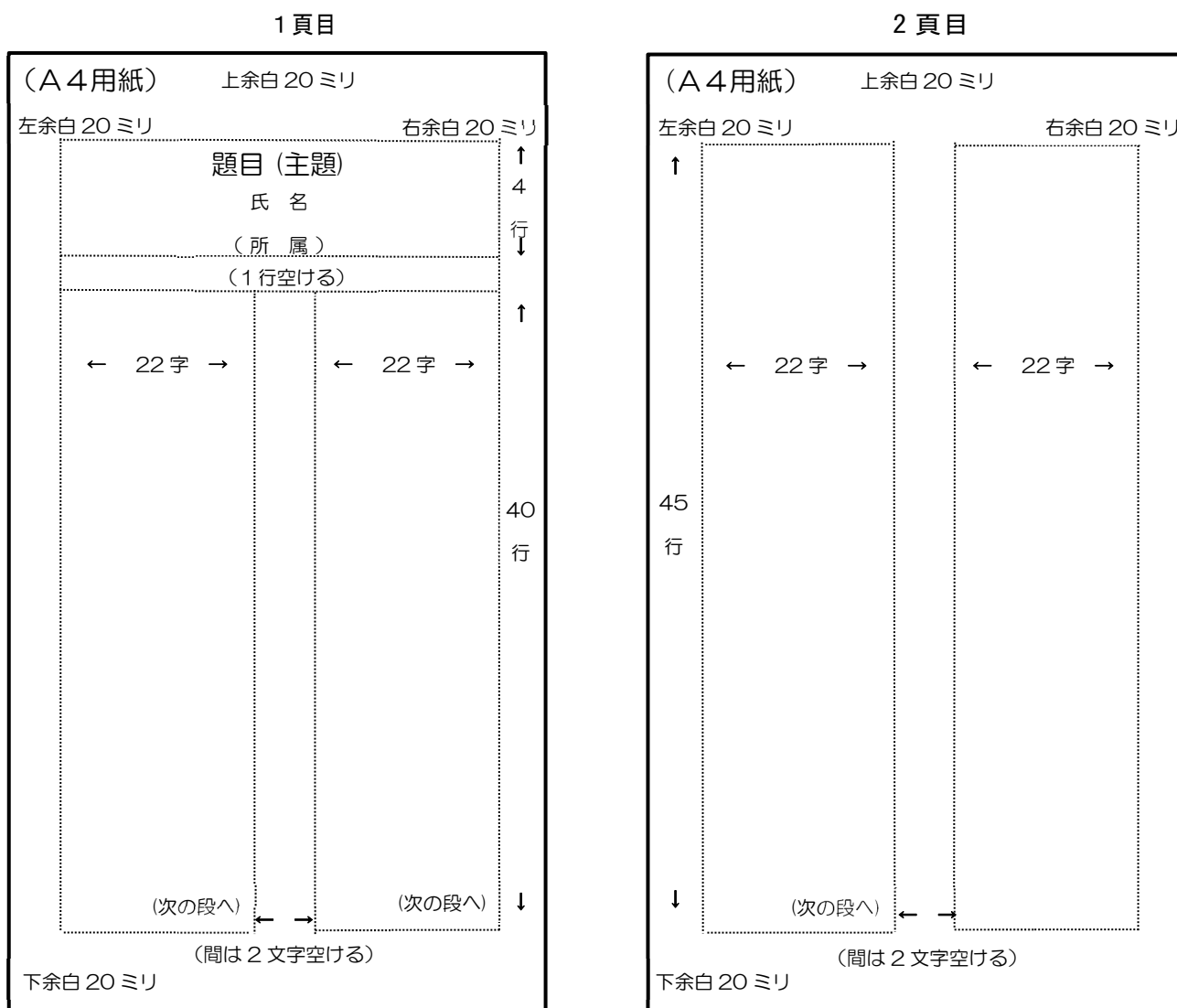
① 題目・氏名・所属・本文の記入方法(レイアウト図参照)

- (a) 「題目」は、4倍角(普通の文字[全角]の2×2字分)程度の大きさに、上から第1行目と第2行目に記述する。
- (b) 「氏名」は、第3行目に記述する。また、連名の場合には筆頭発表者の氏名の前に○を付ける。  
(連名の場合で名前の前に○がない場合は、最初の方を責任発表者とします。)
- (c) 「所属」は、第4行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。
- (d) 「本文」は、「所属」の行から1行空けたところ(第6行目)から書き始める。
- (e) 会員外の連名発表者については、氏名の後に#印を付ける。

② 図と表の記入法

印刷して仕上がったときの縦横の縮小率は、原稿を1とすると約0.9です。図や表の記載量についての制限はありませんが、すべてが印字の枠の中に収まるようにしてください。写真は図として扱います。原稿をアップロードすることを考慮して、容量が大きくなるようにしてください。

〔レイアウト図(A4判縦置き)〕



【注】 上図に示した行数および1行の文字数は、おおよその目安とお考えください。

ただし、指定の行数±3行、指定の文字数±3字の範囲内でお書きください。

(5) 論文原稿およびポスターの送付について

プラットフォームサイト公開用にスライド PDF 原稿を 20 枚以内で作成、提出していただきます。各登録は「事前参加・発表申込」よりご登録が可能です。ポスター発表に関する各種締切は下記の通りとなります。ポスターは PDF 原稿のみとし、MP4 などの動画による発表は受け付けません。

【各種締切】

- 発表申込・原稿投稿締切 8月2日(火)
- スライド PDF 投稿締切 10月5日(水)

## 日本学校心理士会大会発表倫理規定

### 1. 人権の尊重

- 発表者は、調査や面接などに先立ち研究協力者からインフォームド・コンセントを書面で得なければならない。
- 発表者は、調査や面接などでデセプション（虚偽）の方法を用いる場合、それが研究協力者に負の影響を与えないことを確認した後、研究を実施し、調査や面接の終了後にデセプションを用いた理由を説明しなければならない。

### 2. 個人情報の秘密保護の厳守

- 発表者は、得られた研究協力者の個人的な資料を厳重に保管し、秘密の保護に責任をもつ。同意を得た本来の目的以外には使用してはならない。

### 3. 発表に伴う責任

- 発表者は、発表のもたらす人道的・社会的意義に十分に配慮し、専門家としての責任を十分自覚して発表しなければならない。
- 発表者は、プライバシーに関する責任をもつ。個人のプライバシーを侵害してはならない。
- 発表者は、共同研究者の権利に配慮して連名の承諾を得なければならない。すべての共同研究者は、研究に積極的にかかわり、そのもたらす結果について共同の責任をもつ。
- 発表者は、研究のために用いた資料等について、著作権に配慮し出典を明記する。また、差別的な用語や不適切な表現のないように留意しなければならない。

### 4. 研鑽の義務と倫理の遵守

- 発表者は、本倫理規定を十分に理解し、遵守するための研鑽の機会をもつように努めなければならない。また、すべての発表者は、学校心理学の研究および実践活動において、本倫理規定を十分に理解し、遵守する。

### 【参加・発表申込に関するお問い合わせ】

日本学校心理士会 2022 年度大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

E-mail : gakkoushinrishi-desk@ (conf.bunken.co.jp を付けてください)

### 【学校心理士資格更新、ポイントに関する問い合わせ先】

一般社団法人 学校心理士認定運営機構

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-32-1 BLISS 本郷ビル 3F

TEL: 03-3818-1554 FAX: 03-3818-1588 ※質問はメールでも受付けています。

E-mail: office@gakkoushinrishi.jp ※Email を送る際は◎を@に変更して下さい。